鳥取ふれあい共生ホーム

照陽（てるひ）の家だより

平成31年 2月15日

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
ＴＥＬ　0859-21-8151

立春を過ぎ余寒なお厳しき頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年は雪の少ない冬のようで桜の開花予測も例年より早めとの事、いつもながら春の到来を心待ちするこの頃です。さて、今年10月には消費税アップのため介護保険報酬の一部見直しが予定されています。それに先立ち、昨年、厚生労働省の大島老健局長の講演を聞く機会がありました。その後、改めて厚生労働省のこれからの介護保険についての考え方として「本年は介護保険の見直し作業に入る年」との説明がありました。大島局長によるとキーワードは「集い」「互い」「知恵」との事。「集い」は徒歩10分圏内に高齢者が集まる「集いの場」の設置を推奨していく。「互い」は住民互助でその仕組みを広げていく。「知恵」は医療・介護の専門職がさらに連携し課題解決していくネットワークを構築していく事と説明されました。介護保険は平成12年4月に施行し今年で20年目に入ります。この20年の良き悪しき推移を私たちは身に染みて感じています。ご承知のように介護は家族だけで出来る事でもなく又、事業者だけで対応するものでもありません。出会いから別れまで私たちは沢山の想い出をご本人と共に共有しながら貴重な時間を重ねていきます。そしてそのお姿から生きる事、死ぬ事はやはり簡単な事ではない事を教えられます。先に見える景色が年老いていく人々にとって生きて来て良かったと思える景色にするためにも私たちは身近な方々と協力し合い温かな地域作りを微力ながら担って行きたいと念願しています。

施設長　三代富士子

インフルエンザが流行していますが、鬼退治、リハビリ体操をして何とか踏ん張っています。

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

照陽の家の日常とひなたぼっこ保育園

消防署の前を通って富士見公園へお散歩です☆冬恒例のたこ焼きをしました❤タコは入っていませんが、美味しかったです！机いっぱいに紙を広げてクレヨンでお絵かきをしました☆ふれあいの里に行き、広い所でたこあげ！頑張って走らないと飛ばないですね。

照陽の家には訪問看護ステーション ハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し、看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

訪問看護ステーション　ハートケア

今年は例年になくインフルエンザが猛威を振るい次々と罹患者が出ています。そこでインフルエンザについて改めて復習をしてみましょう。
①インフルエンザの感染経路：　飛沫感染：咳やくしゃみと共に放出されたウィルスを吸い込む事により起こります。　接触感染：ウィルスが付着したものを触れた後に目、鼻、口などに触れる事で粘膜を通じて感染します。 ②インフルエンザの症状、経過：　感染　→1～3日（38℃以上の高熱、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛、頭痛などの全身症状があります。　発症　→1～3日（咳、喉の痛み、鼻水などの呼吸器症状）1週間後に軽快します。 ③インフルエンザの合併症：　高齢者：最近の二次感染による肺炎・気管支炎・慢性機関支援の増悪など。　乳幼児：インフルエンザ脳炎、中耳炎、熱性けいれんなど。④インフルエンザの治療：　安静にして睡眠や休養を十分にとり脱水症状が起こりやすいため水分補給をこまめに行う事が重要です。⑤インフルエンザの予防：インフルエンザのウィルスはとても早く増殖するので症状も急速に進みます。外出後の手洗い、うがいをさらに徹底し1～2時間おき位に部屋の換気、また人混みは出来るだけ避けるようにして下さい。急な高熱や体調不良を感じたら軽く思わず医療機関を受診する事が大切です。

今月の言葉

朝、になれば　昨日は消える　昨日あったこと　辛いことも　悲しいことも
もうここにはない　どうしてか　新しい、今日という日が　僕たちに与えられたのだ！
今日を生きよう！　昨日のことは　知識としてだけ　覚えといて　～葉　祥明～